



インターナショナル新書

『ルポ 日本のDX最前線』

酒井 真弓(ノンフィクションライター)

定価: 946 円 (10%税込み)

体裁: 新書判 / 240 ページ

発行: 集英社インターナショナル(発売: 集英社)

ISBN: 978-4-7976-8074-4

“DX” とは何なのか？

行政機関・民間企業における

“DX” の取り組みを徹底取材！



6月7日発売！

日本再生の鍵と言われる、“DX”（デジタルトランスフォーメーション）。その実態とは？ 本当に DX が日本経済の救世主となり得るのか？

本書では、政府 CIO・経済産業省・金融庁といった行政機関や、小売・飲食・メーカー・金融など民間企業まで、官民の枠を超えて「DX の最前線」に立っている人々を広く取材。彼らを手がかりに、私たちが目指すべき「真のデジタル化」への道筋を探っていく。



酒井 真弓 (さかい・まゆみ)

ノンフィクションライター。1985 年、福島県生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。IT 系ニュースサイトを運営するアイティメディア(株)で情報システム部に在籍し、エンタープライズ IT 領域において年間 60 本ほどのイベントを企画。2018 年 10 月、フリーに転向。現在は記者、広報、イベント企画、ブランドアンバサダー、マネージャーとして、行政から民間まで幅広く記事執筆、企画運営に奔走している。

「IT後進国ニッポン」「なぜ日本にはG A F A (Google, Apple, Facebook, Amazon) やB A T H (Baidu, Alibaba, Tencent, Huawei) と渡り合える企業が生まれず、オードリー・タンが現れないのか……」。

そう悲観的な言葉で日本におけるデジタル化の現状を嘆くのは待ってほしい。事実、この国にはデジタルの力によって社会や組織に変革を起こすD X (デジタルトランスフォーメーション) と正面から向き合い、本気で未来を変えようとしている人たちがいる。

D Xの形は一つではない。デジタルを武器に突き進む人たちの、それぞれの真実を伝えたい。

(「はじめに」より抜粋)

——目次より——

はじめに

第1章 政府編

政府CIO ——伸びしろだらけの荒野

経済産業省 ——日本企業よ、一発屋で終わるな

金融庁 ——人間の力だけでは不正は見抜けない

第2章 企業編

コープさっぽろ ——超アナログ企業の山あり谷ありDX

トライアル ——スマートストアがコロナ禍で可視化したもの

イカセンター ——コロナ禍直撃の飲食店が取り組んでいること

セブン銀行 ——インシデントは突然に 2人の商品開発者の物語

コーセー ——逆境で、人は輝く

アクロスエンタテインメント ——声優事務所はAI声優の夢を見るか？

コナミデジタルエンタテインメント ——ゲームをしながらセキュリティを学ぶ

特別取材：鎌田敬介、西成活裕、喜多羅滋夫、及川卓也

※ぜひ貴媒体にてご紹介をご検討いただけますと幸いです。
書影、著者インタビュー等、以下までお問い合わせください。

【本書のお問い合わせ・取材申込先】

集英社インターナショナル

電話 03-5211-2630 公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp>